

MASADA JACK

エアータブルジャッキ 取扱説明書

警告

製品を使用する前にこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから正しくご使用下さい。

この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管して下さい。



株式会社 マサダ製作所

本社・工場 〒197-0815 東京都あきる野市二宮東2-1-1 TEL042-559-1113 FAX042-559-7334
大阪支店 〒590-3079 大阪府堺市堺区新町3-75102/F TEL072-227-5820 FAX072-227-5821

ご愛用の皆様へ

このたびはマサダエアータブルジャッキをお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。取扱説明書の中の注意事項および使用方法等をよく読んでご使用頂きませんと、製品の能力を十分に発揮することができませんのでよく理解した上で、正しくご使用下さい。

お買上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買上げ頂きました販売会社までお問い合わせ下さい。

警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事項です。人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用下さい。

危険……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

警告……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

注意……取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみ発生が想定される場合。

製品保証事項

品名
エアータブルジャッキ

このたびはマサダエアータブルジャッキをお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。

本製品に対しては下記の範囲において保証サービス致します。

- 保証期間はお買上げ後1年以内と致します。
- 保証期間内において正常のご使用にもかかわらず生じた製造上の欠陥に起因する故障は無償で修理致します。
- 保証期間中であっても下記条件に該当する場合は修理に要した費用の責を負いません。
 - イ. 弊社、特約店およびサービスステーション以外において修理加工を行った場合。
 - ロ. 製品に改造等を加えこれが原因となった場合。
 - ハ. 不慮の事故、濫用、誤用が原因となった場合。
- 本製品の保証は日本国内で使用される場合に限りです。
This warranty is valid only in Japan.

このジャッキは社内検査規格に合格しています。

危険・警告事項

危険・警告事項を怠りますと、重量物の落下や人身事故につながる恐れがありますので、必ずよく理解した上で正しくご使用下さい。

	<p>危険</p> <p>ジャッキアップ状態で重量物(車等)の下での作業は厳禁</p> <p>*死亡または重傷の危険性があります。</p>
	<p>警告</p> <p>取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な警告事項が説明されています。 ・警告事項に従ってください。重大な事故につながります。
	<p>傾斜地や軟弱な場所での使用禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傾斜地や軟弱な場所で使用すると、ジャッキが傾き、安全気がすべり、重量物の落下による重大な被害が発生します。

使用上の注意

- 使用前にはその都度ジャッキを点検して下さい。損傷したジャッキや改造ジャッキ、誤用の恐れのあるジャッキは使わないで下さい。
- このジャッキの呼び重量を超えた荷重では使用しないで下さい。
- ジャッキは平坦で堅い場所に置いてご使用下さい。
- エアバルブボタンを押すラムが伸び始めたら、重量物の荷重がジャッキ受食部の中心に垂直にかかるようにして下さい。
- 重量物は必要以上高く上げないで下さい。
- ジャッキを上げたまま重量物を保持する場合は安全上、安定性の良い適切な保持台で支えて下さい。
- ジャッキだけで支えている重量物の下には絶対に入らないで下さい。
- 保持している重量物には力を加えないで下さい。
- ハンドルを使用しない時はジャッキ本体から抜いて下さい。また仕様で決められたハンドル以外は絶対に使用しないで下さい。
- ジャッキのラムを下げる場合は4~5mm上昇操作を行った後、リリースシステム(圧縮弁)を反時計回りにゆっくり回して下げて下さい。
- ジャッキ使用後、ジャッキのラムは最高受状態にして下さい。伸ばした状態ではラムにキズをつけることがあります。

取扱い方法

準備

- 使用空気圧力0.69~0.97MPa(7~9.9kgf/cm²)使用空気量300ℓ以上必要です。2.2kW以上のコンプレッサーをご用意下さい。
- ジャッキのカプラプラグとコンプレッサー側のカプラソケットを接続します。

注意

- ジャッキのカプラプラグは、日東工器製の「ハイカプラ20PH」を使用しています。このカプラプラグに合ったソケットを使用して下さい。
- コンプレッサー側には必ずエア-3点セットを取付けて下さい。(エア-3点セットはお客様にてご用意下さい。)

ジャッキを上げる時

- リリースシステムにハンドル先端(U切欠き部)を差込み、時計回りに回して確実にバルブを閉めてください。(バルブを締め過ぎると故障の原因となりますので締め過ぎないように注意して下さい)
- エアバルブボタンを押すと上昇し、放せば停止します。

ジャッキを下げる時

注意

リリースシステムはゆっくり回して下さい。早く回すと重量物は急激に下降しジャッキポイントが外れたり、またジャッキが破損する場合があります。重大な事故につながります。

自動車用として使用する際の注意

- 車両に付属されている取扱説明書をよく読んでジャッキをご使用下さい。
- 車の車種および重量に適合したジャッキをご使用下さい。
- 交換するタイヤの反対側の前後車輪に車止めをかける下さい。
- ジャッキアップの際、車の決められた位置にジャッキの受食部の中心が垂直に当たるようにして下さい。
- ジャッキアップは必要以上に高くしないで下さい。
- ジャッキ使用中は絶対に車の下に入らないで下さい。車の下に入る場合は必ずリジッドラック等の保持台で車を保持して下さい。
- ジャッキ使用中は車には力を加えないで下さい。

注意

ラベルが汚れて見えなくなったり、ジャッキ本体に異常が見られた場合、直ちに販売会社に相談して下さい。

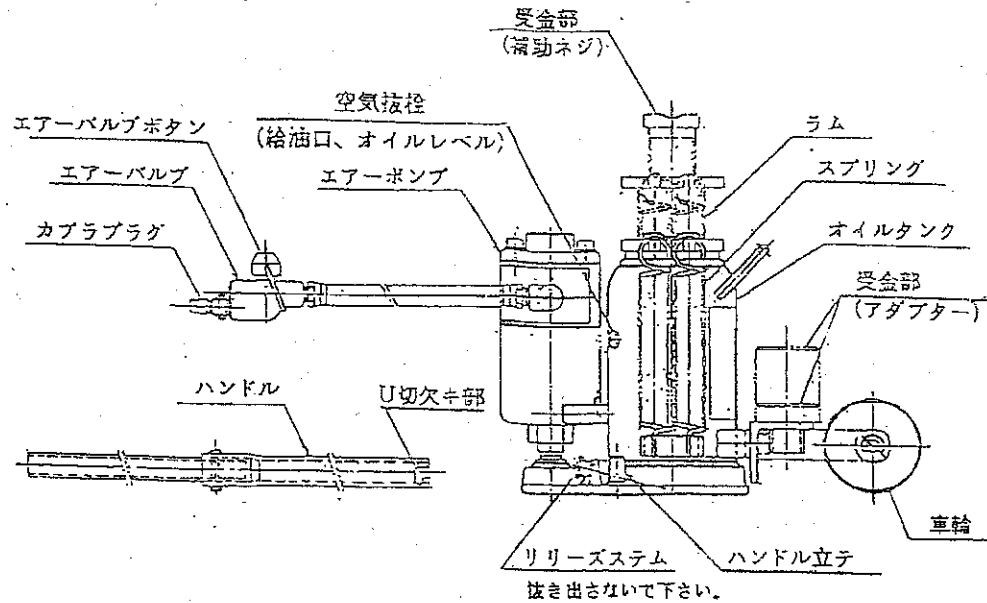
給油する時

- ラムを最低まで押し下げて下さい。
- 空気抜きを指で外し、指定のジャッキオイルまたは一級油圧作動油(ISO VG10-32)をジャッキを立てた状態で給油口まで入れて下さい。
- 給油が終わったら空気抜栓を取り付け、ジャッキを上げる作業を行い、ラムを最高まで伸ばし、更に5~6回ポンプ作動を繰り返して下さい。その後、ラムを最低まで下げ空気抜栓を横に押し空気を抜いて下さい。(空気抜き作業)

注意

給油の際、ゴミ等が混入しない様注意して下さい。なお、ブレーキオイルまたは抗油性オイルは絶対に使用しないで下さい。作動不良の原因となります。

◆説明図



◆ マサダエアードラムジャッキには下表の製品が御座います。用途に合わせてご愛用願います。また、下表以外にも各種ジャッキが御座いますのでお問い合わせ下さい。

《仕様表》

注記

- 1). 作動エア圧力 0.69~0.97MPa (7~9.9kgf/cm²)
- 2). コンプレッサー 2.2kw 以上

型 式	呼び荷重 (TON)	最低高さ (mm)	油圧行程 (mm)	ねじ径長 (mm)	最高高さ (mm)	受金寸法 (mm)	ベットの寸法 (mm)	ハンドル寸法 (mm)	上昇時間 (sec)	アダプター (mm)	総重量 (kg)	油 量 (cc)
APJ-250	25	230	120	105	455	φ54	142×192	φ22×635 -2本	無負荷52 負荷150	φ59×15 φ59×50	18.5	560

(オプション)

◆故障と処置

主な故障	原因	処 置	備 考
エアポンプが作動しない	エア配管破損、エア漏れ エアポンプ不良	サービス工場に修理をご 用命下さい	
エアポンプは作動 するが上昇しない または断続的	エアポンプパッキンの破損	サービス工場に修理をご 用命下さい	
	リリースシステムが開いている	リリースシステムを時計回 りに回し確実に閉じる	取扱方 法参照
	ジャッキシリンダー内にエア ーが混入	エア抜きをする	*下記 参照
上昇が途中で止まる	油量不足	適正油量を給油して下さ い	取扱方 法参照
負荷が加わると上昇 が止まる	コンプレッサーの圧力不足	圧力調整 0.69~0.97MPa (7~9.9kgf/cm ²)	取扱方 法参照

*エア抜き方法

1. リリースシステムを反時計回りに回しバルブを開け、エアバルブボタンを4~5秒押し続けた後、リリースシステムを時計回りに回しバルブを閉じ、再度エアバルブボタンを押すと上昇します。
2. 上記の操作でなお上昇しない時は、リリースシステムを時計回りに回しバルブを閉じ、スプリング(4本)を外し、補助ネジを廻り引き上げた後、リリースシステムを反時計回りに回しバルブを開け、ラムを下げ戻し、取扱い方法の「上げる時」の操作を行って下さい。

指定サービスステーション一覧表

旭機器旭川工業所 〒070-8046 旭川市忠和6条7-5-11	☎0166-61-4615
旭機器苫小牧工業所 〒059-1364 苫小牧市沼の端255	☎0144-55-0444
旭機器帯広工業所 〒080-0047 帯広市西17条北1丁目24番地	☎0155-34-6078
アールエス機械(株) 〒007-0827 札幌市東区東五条7条2丁目12-6	☎011-790-6291
(株)東興チーゼル 〒030-0151 青森市大字高田字日野167-8	☎0177-39-1656
(有)東 信 〒010-0963 秋田市八橋大沼町11-19	☎0188-62-3426
東 信 商 会 〒028-4300 岩手県岩手郡滝沢字土沢310-95	☎0196-87-3117
(株)長瀬ホーリング 〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2-5-10	☎022-239-7644
(有)アオヤキ機工 〒310-0841 水戸市酒門町字西割4225-11	☎0292-48-2603
松栄メカニック 〒328-0025 栃木市仲仕上町79-2	☎0282-25-3553
関谷油圧機工 〒274-0054 千葉県船橋市金堀町579-8	☎047-457-4062
(有)ムカサ工機 〒369-0113 埼玉県鴻巣市下忍3347	☎048-548-1140
(合)今井工業所 〒134-0084 東京都江戸川区東葛西5-17-16	☎03-3680-9767
太平メカニック(株) 〒143-0026 東京都大田区西馬込1-1-10	☎03-3778-3456
(有)中央パーツ工業社 〒220-0072 神奈川県横浜市西区浅間町1-10-1	☎045-311-4425
(株)大阪油圧 〒230-0071 神奈川県横浜市鶴見区鶴岡2-6-6	☎045-670-3930
(有)長田機械工業 〒939-1131 富山県高岡市霞野1140-2	☎0766-63-3354
(有)中山商會 〒916-0019 福井県鯖江市丸山町1-1-3	☎0778-51-1193
(株)ヨシフジ 〒924-0002 石川県白山市八田中町198-3	☎0762-76-7444
(株)山岡工作所 〒500-8227 岐阜市北一色6-21-27	☎058-245-4662
誠 商 会 〒453-0054 愛知県名古屋市守山区島崎西1-20	☎052-412-3696
(株)西川工機 〒519-2142 三重県松坂市下鶴路町286-5	☎0598-29-2171
(株)大阪油圧 〒511-0821 三重県桑名市大字矢田722-1	☎090-8215-8109
石上工作所 〒547-0026 大阪府平野区喜連西1-11-1	☎06-6706-4512
(株)大阪油圧 〒559-0011 大阪府住之江区北加瀬4-7-9	☎06-6682-6511
瀬川商會 〒651-2235 神戸市西区横谷町長谷338-1	☎078-991-2557
神戸エンジニアサービス 〒654-0121 神戸市須磨区妙法寺字大坪1128-22	☎078-743-4557
機工サービス倉敷 〒712-8051 岡山県倉敷市中殿7-3-7	☎086-455-4700
北 陽 商 事(有) 〒689-3425 鳥取県米子市淀江町佐野816-5	☎0859-56-2621
広 垂 工 業 所 〒733-0006 広島市西区三條北町4-15	☎082-238-0240
井 原 商 会 〒734-0026 広島市南区七条3-1-9サンツィー七条2F	☎082-282-8189
(株)アークス 〒790-0056 愛媛県松山市土居田町560	☎089-971-4417
(株)四国工作所 〒761-0101 高松市春日町字浜免1308-3	☎087-841-1439
(有)北神マンサービス 〒770-8054 徳島市山城西4-48	☎088-625-9101
(有)四国油器 〒780-0814 高知市福徳町4-13	☎0888-83-0814
三信機器サービス(株) 〒870-0941 大分市大字下3055-12 下郡工業団地内	☎097-569-6568
N S S 北九州 〒807-0806 北九州市八幡西区御前2-1-33	☎093-601-7114
(有)エアードラムサービス 〒815-0001 福岡市南区五十川2-10-18	☎092-501-6310
松 本 油 圧 〒811-2113 福岡県粕屋郡須磨川須磨528-4	☎092-933-8093
宮 崎 整 機 〒880-0927 宮崎県宮崎市源盛町池内756-5	☎0985-52-3821
(株)マサダ製作所営業部 〒197-0815 東京都あきる野市二宮東2-1-1	☎042-559-1113